

今号のわだい

- 【1面】18原水禁世界大会in広島
- 【2面】労働学校・コミュニティ  
オーガナイズング
- 【3面】新歓の取り組み・平和行進

# 全厚労ニュース

全 国 労働組合連合会  
厚生連  
〒110- 東京都台東区入谷  
0013 1-9-5  
TEL 03-3874-3591  
FAX 03-3874-3593  
発行日 毎月20日 定価 30円  
http://www.zenkouro.org/



折鶴を奉納し平和記念式典へ参加

## 人間と核は共存できさない

### 原水爆禁止2018年世界大会in広島

8月4〜6日、原水爆禁止2018年世界大会が広島にて開催され、全国・世界各国より約5千人が参加。全厚労から10県62名が参加し、1日目の開会総会、2日目の分科会、3日目は折鶴奉納後、平和記念式典と閉会総会に参加しました。

開会総会では、主催者より、先に開催された国際会議で満場一致で採択された国際会議宣言の報告があり、「73年前にアメリカが人類に対して初めて核兵器を使用し、広島では14万人、長崎では7万人が命を奪われました。死をまぬがれた被爆者にも、様々な後遺症が今もなお身体をむしばみ、

命を脅かしているのです。こうした非人道的な結末をもたらず核兵器の使用は、いかなる理由であつても決して繰り返してはいけません。私たちは一刻も早く完全に核兵器を廃絶する事を力強く世界に呼びかけます。昨年7月7日、国連会議において採択された核兵器禁止条約は『核兵器のない世

界』にむけた人類の歴史的な一歩となりました。前進する決め手は世論と運動の発展です」という力強い言葉が確認されました。

世界各国や日本全国各地からも原水爆禁止についての訴えや、平和行進の報告がありました。全厚労からは、安本真理子書記次長より、茨厚労の平和活動や、

平和行進への参加の取り組みとともに、医労連のスローガン「ふたたび白衣を戦場の血で汚さない」のもと、地域医療・平和・いのちを守ることを、平和憲法を守り、核兵器廃絶の実現をめざし、

学びを力に想像力を持って活動を広げていくと発言されました。全ての発言から広島悲劇を繰り返してはいけないという平和への想いが伝わってきました。翌日の分科会には、参加者が選んだそれぞれの分科会に参加しました。(下記インタビュー参照) 最終日は平和記念公園内

「原爆の子の像」にて折鶴を奉納。その後、平和記念式典に参加しました。原爆が投下された8時15分、平和の鐘が鳴り響き、全員が黙祷しました。当時を感じさせる雲一つない青空の暑い朝、世界85か国の代表、約5万人が参列していましたが、黙祷の間は静まりかえり、蝉の鳴き声だけが聞こえ平和を強く祈念した1分間が流れました。

原水爆禁止大会の参加を通じて、あのような戦争を二度と繰り返してはいけない、核兵器は決してあってはならない、人間と核は共存できないことを改めて感じました。戦後73年、平成最後の広島、原爆の日。被爆者から被爆体験の話聞けるのもわずかです。私たちのできる事はなにか、次の世代へ受け継いでいく、発信していくこと、広島・長崎に足を運び、体験者の話を聞いて原水爆の威力や、恐怖を感じ学ぶ事が大切ではないでしょうか。なんでもいから、平和につながる一歩をみんなが踏み出していける世界になることを願います。(教宣部・春原恵子)

#### 分科会12 秋田・佐々木陽平さん

原水禁世界大会に、はじめて参加させてもらった。まず、開会式会場で驚いたのは、人の数。様々な国や地域からこの場所に5千人が集い、原水爆反対を訴える人々の気迫は、夏の太陽よりも心を熱くさせるものがあつた。

分科会では、「碑めぐり」に参加した。知識として漠然と原爆が落ちて多くの人たちが亡くなったことは知っていた。しかし、実際に自身の目で原爆ドームや本川小学校を訪ね、生で当時の息づかいを感じた。爆心地の真下に立って空を見上げたときの恐怖は、一生忘れないだろう。たかが、3日。されど、この濃密な3日間は、これから私が歩いて行く人生への大きな財産となった。



#### 分科会12 茨城・小沼和美さん (写真右側)

今回はじめて参加しました。開会総会では、各国のスピーチとともに、私たち茨厚労の平和活動の折鶴作成・平和行進などを報告する事が出来て嬉しかったとともに、全国各地でもいろいろな平和活動をしている事を知り驚きました。

分科会は碑めぐりに参加。今まで、資料や話だけではそこまで悲惨さや平和への思いも強くなかったですが、実際に跡地を見て経験者の話を聞いた上で最終日の平和記念式典に参加した事で、子供代表の平和の誓いが重く胸に響きました。過去の人達の苦しみは、私たちが思っている以上に過酷な中、平和を望み、前を向いて活動しているのだと思いました。私も伝承者になれるようこの活動を伝えていきたいと思いました。



4千羽の折鶴を持って茨厚労の平和活動を報告

#### 分科会5 広島・田邊将寛さん

分科会テーマは「核兵器と原発」でした。核の脅威については自分なりに理解はしていましたが、福島県出身の男の子の発言に愕然としました。「母が育てた野菜で作ってくれた美味しい料理、父と共に釣りに出かけ、自分が住んでいる福島を誇りに思っていた。しかし震災で生活は一変。転居を余儀なくされ、その先ではイジメにあい自殺も考えた」、「大人たちのせいで生活を奪われ、つけは僕たち子どもにおしつけようとしている」という言葉に、会場の多くの大人たちはどう思ったのか。日常生活が安定し、平和があるから人間らしい生活が行えることを痛感しました。まず自分たちで学習すること、それを多くの人に広めること、そして一緒に闘える仲間を作る事が重要だと思います。



# 要求を実現するために 運動する仲間を増やそう

今号では前回に引き続き労働学校テーマ②「コミュニティオーガナイズングで学ぶ組織論」の紹介をします。

皆さんはコミュニティオーガナイズングという言葉を知っているだろうか？自分はお恥ずかしい事に聞いたこともなく、もちろん知るはずもなかった。ではコミュニティオーガナイズングとはどういうことだろうか？コミュニティオーガナイズング(Community Organizing)は、市民の力で自分たちの社会を変えていくための方法であり考え方である。

オーガナイズングとは、人々と関係を作り、物語を語り、立ち向かう勇気をえて、人々の資源をパワーに変える戦略をもってアクションを起こし、広がりのある組織を作りあげていくことで社会に変化を起こすこと。キング牧師による公民権運動、ガンジーによる独立運動、どれも数えきれないほど多くの人々が参加し、結束することで社会を変えてきた。最近ではアメリカ

カで黒人初の大統領となったバラクオバマや「ウォール街を占拠せよ運動」もこの手法を用いられたと言われている。知識と経験を持ったリーダーを筆頭に、自分たち自身に問題意識を持たせ、議論し、解決の為に組織化して行動していく事を促すという点が特徴である。

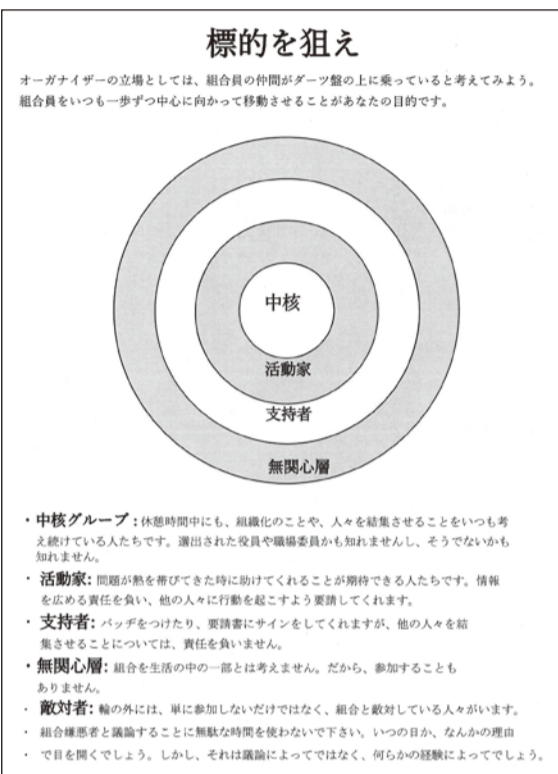
## 標的を狙え！

今回の講義で知識を得た主な内容は、①標的を

狙え、②良いオーガナイザーの資質、③組織化するのにふさわしい課題は？④適切な戦術を選び、運動を激化させる、という4点だった。

まず「標的を狙え」とはオーガナイザーの立場としては、組合員の仲間がダーツ盤の上に乗っていると考え、組合員を一つずつ中心に向かって移動させることが目的になる(図1)。では、支持者を活動家にするなど、一歩中心に足を踏み入れるようにするためにはどうすることが必要なのか？それは困っていることを一緒に解決する、そしてイベントに誘うことが重要である。

図1



一つひとつの闘いは前の闘いの上に築かれるもので、必ずしも願っていたような具体的な成果が上がらないで終わることもあるが、それでもそこから学ぶことは必ずあり、組織

も強くなっている。つぎに、良いオーガナイザーの資質は、何点かあげると、1. 仕事がよくできる、2. 信頼・尊敬されている、3. 正義感、責任感があり、誠実であり情熱的である、4. 自信があり、勇敢、5. よい聞き手、6. 知識が豊富、7. プレッシャーのもとでも冷静を保つて、ストレスと葛藤に対処できる、8. よろこんで経営者に対して立ち上がる等である。

また「組織化するのにふさわしい課題」とは、簡単にいえば全員が怒りを感じるだけ重要な課題で、勝利しやすい些細な課題のこと。細かくみると1. 課題に多くの人が直面している、2. 課題は深刻に受け止められている、3. 課題は勝てる課題である、4. 課題は組合を強化しリーダーを育てるということ。

労働学校では、それらを踏まえ、グループワークをした。まず班員の中の少人数で、①自分が抱えていた課題、②それに対してどのような行動をとり、誰が参加したか？③行動してどうなったか？ということについて

## 自分のストーリーを！



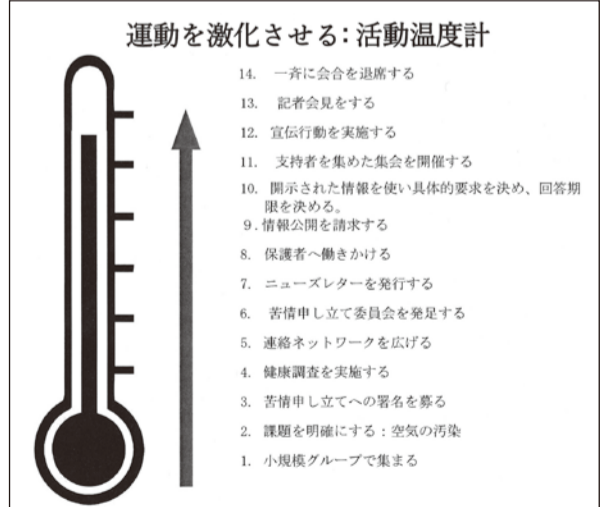
所属長に伝え所属長からも事務長や院長に伝えてもらうことも重要ではないかという意見もでた。自分たちの訴えだけでは解決できないかもしれない時、患者や利用者・その家族に対して現状を訴えかけ巻き込

んでいこうと意見がでた。人が行動を起こす時、そこには必ずストーリーが生まれる。また人が動くためには、まず、心が動かされるものだ。なぜ自分が行動を起こしたか、自身のストーリーを語って聞き手の共感を呼ぶこと、聞き手と自分自身が共有する価値観や経験といったストーリーを語り、コミュニティとしての一体感を創り出すこと。行動を起こすことについて、共に行動する仲間を増やすことに繋がると思

(教宣部・友枝諭志)

話し合った。自分たちのグループは課題に対しての結果が妥当な解決策がないというネガティブな内容もあつたが、時間外労働が多かつた部署に対して早く

図2



## 運動計画作成書式

課題	標的	戦術
皆が悩んでいる深刻な課題は何? それを解決するための要求は何?	その課題を解決できる権限を持っているのは誰?	その標的を動かすには何が必要? この状況にふさわしい戦術は? どんな温度の低い戦術から始めるか? 必要なら次にどんな熱い戦術を使うか?

図3

# 秋厚労

## 新入組合員学習と交流のつどい

### 悩み分かちあい仲間づくり

7月14日秋田・芸術村わらび座にて「秋厚労新入組合員学習と交流のつどい」が開催され、133名が参加しました。

参加者は誕生日で1月から12月までのテーブルに分かれグループワークを行いました。どの班も初対面同士、緊張した面持ちで始まりましたが、自己紹介で同じ趣味や誕生日の参加者も見つかりすぐに打ち解けました。

#### 病院・職種を超えて交流

グループワークでは、入職してから感じた「プラス面」と「マイナス面」をそれぞれ付箋に書き出し、グループ内で発表しながら整理。班員で協力し合いながら、イラストやレイアウトにもこだわ



グループで話し合いながらふせん貼り

って模造紙に貼りつけて合計を競う「カウントした。「先輩がやさしい」、「コミュニケーションがとりづらい」など正反対の意見もあり、職種や病院を超えて質問し合うなど、交流を深めました。

各テーブルには支部の先輩や青年部員も入り、参加者の悩みに真摯に答える場面も見られました。

#### やりがいを感じる仕事

2日目はグループワークの発表後に感想を述べたグループが、次に発表するリレー形式で行ないました。「患者さんからありがたいと言ってもらえた」、「同期が仲良し」、「優しいプリセプターさんから教えてもらえる」といったプラス面や、「休みがとれない」、「腰痛」、

#### 仲良くなれた交流会

夕食交流会では青年部の賑やかな司会のもと、ゲームが催されました。秋田県内の地名を使った「ご当地ビンゴ」では、支部が混ざったグループで、県内の思い入れのある場所や出身地などを話しながら盛り上がりました。また、数取り機を連打し



誕生日が同じ参加者にはちょっとしたプレゼントが

「まだ分からないことがある」といったマイナス面があげられました。時間外が多くなってしまう

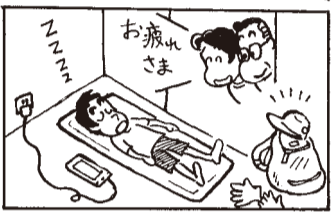
マイナス面に対し、秋厚労看護改善委員会で作成した「労働時間に関するポケットマニュアル」の活用を呼びかけたグループもありました。

発表後の感想では、「自分と同じ悩みを持っていて人がいて安心した。患者さんからの感謝の言葉など、プラス面があることで改めてやりがいのある仕事だと感じた」等の意見が出されました。

最後に、2日間で撮られた思い出の写真やメッセージがスライドショーで流され、支部を超えた交流のつどいを締めくくりました。

# 言いたい劇場

小菅りや子



グループ発表の様子

# 2018年国民平和大行進

## 核兵器のない世界をめざして歩く



茨城・行進では救護班も担当

国民平和大行進は、1958年広島で被爆者や市民が「核武装阻止」を訴え、原水爆禁止世界大会が開かれる東京をめざして出発したのが始まりです。

今年で60周年を迎える平和行進は、被爆者を先頭に、今年も約3ヶ月をかけて

すべての自治体で歩かれました。

5月6日、東京→広島コースのスタートとなる東京・夢の島「第五福竜丸」展示館前からは、全厚労書記局と畑中央執行委員長も行進。北海道→東京コースでは福厚労からも参加し、6月29日からの茨城行進へ引き継ぎました。

茨厚労からはOBもふくめ40名が参加、各自治体からの歓迎集会や声援を受けながら県内一番の過酷コース（32キロ）も歩ききりました。

8月1日には広島県内最長コースに広厚労からも参加。富山→広島コースを通しで行進している米山幸子さんと一緒に歩きました。

平和行進は8月4日に原爆資料館前でゴールし、通し行進者や海外から参加した青年行進者は原水爆禁止世界大会で大きな拍手と歓迎を受けました。



広島・通し行進者とともに歩く

# 徳厚労 新入職員歓迎会

## 組合を知ってガンバロー!

#### 組合知って仲間

7月13日、徳島・グラインドパレスにて徳厚労新入職員歓迎会が開催されました。組合員や執行部、青年部も含め81名（うち新人43名）が参加しました。

食事会の途中にはゲーム大会も催され、ビンゴ大会では大スクリーンに

#### 参加者全員に景品

大栗執行委員長の挨拶では、労働組合の説明や歴史、徳厚労が団体交渉で勝ち取ってきた週休二日制や、夜勤8日以内といった権利等が紹介されました。組合説明のあとは、乾杯前に加入用紙が配られ、参加者には気持ちよく記入して頂きました。

#### はじめての団結ガンバロー

歓迎会の最後には大栗執行委員長の指揮のもと「ガンバロー三唱」が行



力強くガンバロー三唱

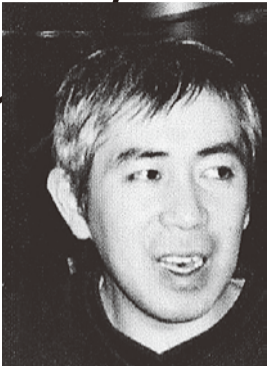
た。参加者は部署ごとにテーブルにわかれ、同じ職場の先輩組合員に相談をしたり、アドバイスをもらいながら交流を深めました。

大栗執行委員長の挨拶では、労働組合の説明や歴史、徳厚労が団体交渉で勝ち取ってきた週休二日制や、夜勤8日以内といった権利等が紹介されました。組合説明のあとは、乾杯前に加入用紙が配られ、参加者には気持ちよく記入して頂きました。

新入職員全員に景品が配られました。参加者ははじめての「ガンバロー」に戸惑いながらも、元気よく三唱。労働組合の歴史と、働く仲間との団結が感じられる歓迎会となりました。

# 頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。  
第133回は神奈川と香川をお願いします。



神奈川 肥田立さん

神奈川から肥田立(ひだたつ)さんを紹介。肥田さんは、奥さんの難病のための介護で退職した渡辺秀一さんの後を継いで去年から伊勢原支部長になりました。オペ室に長く勤務するベテラン看護師です。夏でも冬でも、いつも革ジャンを着ていることで知られています。オートバイがライダーなみの趣味なのです。この性格は組合活動にも現れていて、一徹に初心を貫いてくれ、どちらかと言うと無口ですが、強い信念の持ち主です。



香川 川田祐生さん

香川県からは今回、屋島総合病院リハビリテーション科で勤務する、若手No1エリート！労働組合書記次長の川田祐生さんを紹介。やさしいルックスに甘い言葉で院内の女性は皆、彼の虜になっています。職場での仕事ぶりは機械のような正確さ、豊富な知識と切れ味鋭い行動力に上司の方々からも一目置かれています。そんな彼は組合でも書記次長として組合員達の中心に立ち、ぐいぐい引っ張ってくれる行動力はまさに若手組合員のリーダーです。今後も彼の屋島総合病院そして香川県厚生連での活躍に期待できます。

そんな彼ですが、県外出張では少し人見知りな所もあるので見かけたら気軽に話しかけてあげてくださいね。

## 読者の声

職場のハラスメント防いでいますか？に対して「言葉の圧迫・イヤガラセなど」が離職に直接つながることもあるため職場全体で十分に気を付けていく必要があると痛感しています。  
(神奈川)

中田進先生の講演の記事が良かったです。「知は力」学習こそ組合の力に、働くとは何？私は、はた(周り)をらく(楽)にする事を教えてもらいました。でも、もっと現実的で「役立つ事」「自分自身の成長」「生活お金 役立つためには「技術」「知識」「愛」「感動」しました。  
(長野)

「知は力」本当にその通りだと思えます。人に答えを聞くのではなく、自分で答えを出せ  
(秋田)

働きがいは健康のこととありましたが、本当にそう思います。働いていて嬉しい事もたくさんありますが、悔しい思いや辛い思いをする事もあります。私はひどく落ち込むと免疫も落ちて風邪を引きやすい体質なので、休みの日はストレス発散できるように友達と楽しい時間を過ごしています。これからも自分の体と上手に付き合いつつ健康に仕事を続けたいと思っています。  
(長野)

健康でないと働きがいが失われますよね。やはり健康ありきの仕事やと、こちらも文章読んで感じました。  
(T.M)

相手の気持ちになつて言葉を発しましょう!!  
(S.Z)

る自力を身につけましょう。  
(Y.S)

あり、今年は特に体調管理が難しいですね。心と体のバランスを保つ、ストレス発散も大事ですね。  
(S.N)

## 聞かせて・教えて!のコーナー

☆6月号で募集した「聞かせて・教えて」結果発表☆

質問1 6月号で一番興味があった面は?

「1面」が15票で最多。圧倒的に反響が多かったのは2面の学習講演でした。まだ読まれていない方は是非チェックしてみてください。

右のQRコードから全厚労ホームページを開き、「資料・データ」のページから過去の全厚労ニュースを見る事が出来ます。

質問2 暑い日に食べたくなるものは?

「アイス」が14票で最多、次に7票で「冷やし中華」でした。全部食べたいという方が1名…。激しく同感です!!

### さて、今回の「聞かせて・教えて!」は

質問1 全厚労も参加している平和運動で参加してみたいのは?  
A=原水爆禁止世界大会 B=3.1ビキニデー C=国民平和大行進 D=日本平和大会

質問2 もうすぐ読書の秋。あなたがよく読むジャンルは?  
A=文芸(小説等) B=実用(趣味等) C=ビジネス D=その他

意見・要望 質問2のD「その他」の答え

クロスワードの投稿もQRコードからできます。氏名・住所・希望景品(図書カード又はクオカード)は必須事項です。投稿数に応じてポイントが貯まります。

今年度からハガキでもポイントが貯まります☆

### スマホからすべて投稿できます★

## 教宣部の つぶやき

11年前、双子の誕生に合わせ購入したアルファード。その後3人目も生まれ、子供の成長とともに狭くなってきた事を実感。修理が必要になったことで買い替えを提案し、時間をかけて嫁を説得、ハイエース・バンを購入。ベッドキットを装備しキャンピング仕様に。車で寝ころべることで子供たちは大はしゃぎ。どこへ連れて行ってもやろうかと悩む、出不精な父なのでした(笑)  
(Y.S)

当選者は4・0倍(クロスワード・聞かせて)でした。当選の結果は発送をもって代えさせていただきます。6月号の答えは「ナツホンパン」で、

## ザ・クロスワード

出題▶モロズミ勝

1	2	3	4	5	6
7	F	8	9		
10		11	12	B	
13		14		15	D
16	C	17	18		
19		20	A		21
22	E	23	24	25	
26			27		

■タテのカギ  
1 晩成  
2 巻積雲のことです  
3 八百……も方便  
4 シングルベッドが2台  
5 「甘酒」は夏の……  
6 フクロウに似た鳥  
7 録画した番組を……する  
8 ……良・可・不可  
9 減るとうれしいけど……  
10 「靈感がない人は遭わない」はデマらしい  
11 煙でいぶした保存食  
12 ウマも肥ゆる季節  
13 アダムとイブの楽園  
14 たな賃とも言います  
15 猿沢……三四郎……  
16 メレンゲを作るときは、卵から取り除く